



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 神東塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4615 URL <http://www.shintopaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 隆平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (経理担当) (氏名) 高田 文生 (TEL) 06-6429-8474
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,656	3.2	628	△5.9	810	16.9	521	67.4
29年3月期第3四半期	16,134	△6.0	667	△0.8	693	5.3	311	9.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 626百万円 (177.0%) 29年3月期第3四半期 226百万円 (12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	16.84	—
29年3月期第3四半期	10.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	36,747	17,523	45.7	541.74
29年3月期	35,485	17,075	46.2	528.96

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,781百万円 29年3月期 16,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	1.8	710	△22.0	930	△14.7	590	△9.1	19.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	31,000,000株	29年3月期	31,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	22,857株	29年3月期	22,457株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	30,977,232株	29年3月期3Q	30,979,045株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内における個人消費の伸びは引き続き緩慢なものの、政府の経済対策や金融緩和策を背景に、また、外需も堅調に推移したことから、企業部門における生産活動は増加基調にあり、国内景気は緩やかながらも持ち直しの動きがみられました。

当社グループにおきましては、こうした経済状況の中で新製品の開発等による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業のさらなる展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,656百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。損益面では、営業利益は628百万円（前年同四半期比5.9%減）、経常利益は810百万円（前年同四半期比16.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は521百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料分野は、海外で新規顧客の獲得がありましたが、前期に発生したスポット需要が発生しなかったことに加え、国内主要ユーザーが生産調整を行なったこと等により、売上高は減少いたしました。

工業用電着塗料分野は、主要ユーザーである電設資材、鋼製家具、ハウスメーカー向け出荷が堅調に推移したため、一部配電盤、照明器具メーカー向け出荷が低調に推移したものの、売上高はほぼ前年並みとなりました。

粉体塗料分野は、主力の鋼製家具、建設資材メーカー向け出荷が堅調に推移したことに加え、新規に獲得した工作機械向け出荷も好調であったため、売上高は増加いたしました。

工業用塗料分野は、主要ユーザーである建設機械、工作機械、形鋼、ゴルフボール向け出荷がいずれも堅調に推移したため、売上高は増加いたしました。

建築塗料分野は、塗料販売は引き続き主力の汎用品の出荷が低迷したことに加え、集合住宅改修物件の獲得も低調でしたが、工事売上において主力ユーザーの塗装工事前倒しが継続したため、売上高は増加いたしました。

防食塗料分野は、主力の新設橋梁物件の出荷が好調に推移したことに加え、下期に入り民間プラントのメンテナンス向け出荷も回復したため、売上高は増加いたしました。

道路施設用塗料分野は、夏場の天候不順の影響で出荷が減少していたすべり止め舗装材、カラー舗装材の出荷が下期に入り回復したため、売上高はほぼ前年並みとなりました。

軌道材料製品分野は、道床安定剤、可変パッド樹脂の出荷は堅調に推移しましたが、スラブ補修材の出荷が引き続き低調であったため、売上高は減少いたしました。

自動車用塗料分野は、国内で新規建浴出荷があったことに加え、海外向け出荷が引き続き好調であったため、売上高は増加いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は15,512百万円（前年同四半期比3.8%増）、経常利益は801百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

(化成品事業)

受託生産している化成品事業の売上高は1,144百万円（前年同四半期比3.8%減）、経常利益は9百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が792百万円、現金及び預金が277百万円、投資有価証券が258百万円増加したこと等により36,747百万円（前連結会計年度末比1,262百万円増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が1,412百万円増加し、長期借入金が266百万円、短期借入金が180百万円、未払法人税等が142百万円減少したこと等により19,224百万円（前連結会計年度末比814百万円増）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が366百万円、その他有価証券評価差額金が67百万円増加したこと等により17,523百万円（前連結会計年度末比447百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成29年10月30日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,725	3,002
受取手形及び売掛金	7,084	7,876
商品及び製品	1,729	1,760
原材料及び貯蔵品	546	609
その他	412	404
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	12,486	13,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,726	2,675
機械装置及び運搬具（純額）	1,555	1,500
土地	15,812	15,806
その他（純額）	403	365
有形固定資産合計	20,498	20,348
無形固定資産	237	267
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647	1,905
その他	620	589
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	2,262	2,490
固定資産合計	22,999	23,106
資産合計	35,485	36,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,587	6,999
短期借入金	3,515	3,334
未払法人税等	231	89
賞与引当金	252	124
役員賞与引当金	14	9
その他	966	962
流動負債合計	10,568	11,520
固定負債		
長期借入金	1,881	1,614
再評価に係る繰延税金負債	3,910	3,910
役員退職慰労引当金	7	7
退職給付に係る負債	1,411	1,506
その他	631	664
固定負債合計	7,842	7,703
負債合計	18,410	19,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	5,346	5,713
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,182	8,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	192
土地再評価差額金	7,929	7,929
為替換算調整勘定	124	85
退職給付に係る調整累計額	23	24
その他の包括利益累計額合計	8,203	8,232
非支配株主持分	689	741
純資産合計	17,075	17,523
負債純資産合計	35,485	36,747

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,134	16,656
売上原価	12,584	13,198
売上総利益	3,550	3,458
販売費及び一般管理費		
発送費	425	432
広告宣伝費及び販売促進費	111	68
従業員給料及び手当	843	859
賞与引当金繰入額	54	55
退職給付費用	61	53
減価償却費	98	91
試験研究費	170	173
その他	1,117	1,095
販売費及び一般管理費合計	2,882	2,830
営業利益	667	628
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	20
受取賃貸料	17	19
持分法による投資利益	128	144
その他	14	8
営業外収益合計	179	193
営業外費用		
支払利息	9	6
為替差損	139	—
支払補償費	1	4
その他	3	0
営業外費用合計	153	11
経常利益	693	810
特別損失		
固定資産除却損	9	8
特別損失合計	9	8
税金等調整前四半期純利益	683	802
法人税等	316	231
四半期純利益	366	571
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	521
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	49

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	97
為替換算調整勘定	△48	△64
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△122	22
その他の包括利益合計	△140	55
四半期包括利益	226	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	550
非支配株主に係る四半期包括利益	60	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	14,944	1,189	16,134	16,134
セグメント利益	684	8	693	693

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	693
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	693

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	15,512	1,144	16,656	16,656
セグメント利益	801	9	810	810

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	810
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	810

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。